

「運動大好き」豊かなかわりを育てる体育学習の創造

全校児童(生徒)数	13名(男子 7名 女子 6名)		
全クラス数	2	教職員数	7
運動部活動数		運動部活動参加率	

取組時の課題と目的

1 取組時の課題

- (1) 「運動が楽しい・好きだ」という児童は多いが、苦手な種目がある児童も多い。新体力テストの結果では、20mシャトルランや50m走が全国平均を下回っており、全身持久力やスピードに課題がある。
- (2) 積極的に自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりという双方向でのコミュニケーションが活発に行えない姿が見られる。

2 取組の目的

- (1) 複式・小規模校のよさを生かし、一人一人に合った学び方や支援を行い、苦手な運動に対しても意欲的に取り組む態度の育成を図る。
- (2) 友達と協働的に学び合うことで運動の楽しさやできた実感を味わえるような指導・場の工夫を図る。
- (3) 新体力テストの結果で課題のある種目について、教科体育の時間だけでなく、教科外体育の時間や家庭・地域と連携を図りながら、意欲的に運動に取り組む児童の育成を図る。

取組の内容

1 教科体育の充実

- (1) 全校児童による体育の授業の取組
運動の特性を十分に味わうことができるよう単元に応じて全校児童による体育の授業を実施した。また、各学年の評価基準を設定し、目標が異なる学年でも、系統性を踏まえて学び合えるような場の工夫を行った。さらに異学年学習グループを構成することで、学び合いの活性化が見られた。
- (2) ICTを活用した学び合いの充実
タブレットの録画機能を活用し、お互いの体の動かし方や演技を撮影するとともに、それを一緒に見て話し合いながら課題を見つけられるようにした。実際に動画等で自分の動きを確認することで、技能面における自己の課題を見付けたり、課題解決の仕方を選んだりするなど、「できる・わかる」実感を味わい、楽しみながら運動に取り組めるようにした。

2 教科外体育の充実

- (1) 朝のリフレッシュタイムの取組
保健体育委員会を中心に、毎週火・木曜の朝に体力づくり「リフレッシュタイム」を実施した。ランニング等の走の運動だけでなく、鬼遊びやボール遊び、ストレッチ等の種目を取り入れることで、全校児童が楽しみながら参加できた。
- (2) 体力づくりカードの作成
マラソンカードや縄跳び検定カードを作成して、継続して取り組むことで体力の伸びを実感させ、児童の意欲を持続させつつ体力づくりに取り組ませるようにした。

(3) 環境整備の工夫

体育館壁面に学習のポイントとなる掲示物を常時掲示し、児童がいつでも振り返ったり参考にしたりできるようにした。

また、取組を継続している「チャレンジかごしま」や地域の体育行事等の記録も掲示し、児童の頑張りが目に見えるようにして意欲付けを図った。

3 家庭・地域との連携

(1) 家庭との連携

各家庭親子で運動に親しむ習慣を形成するため「南界からだウィーク」と称して、年間5回の強調週間を設けた。記録するカードの裏面に、各家庭で取り組めそうな運動の紹介動画を「柔軟」「持久力」など種類ごとに二次元コードで読み込めるようにした。長期休業中にも、親子で取り組んだ運動を紹介する課題を出した。学期始めに掲示して、各家庭が体力づくりの方法を共有できるようにすることで、体力向上を意識して親子でふれ合いながら楽しんで取り組む様子が見られた。

(2) 地域との連携

地域の人材活用を図り、陸上競技やラジオ体操の外部講師と連携した学習を実施した。外部講師から専門的なアドバイスを受けて練習法を取り入れ、教師は指導のポイントを学ぶことができた。また、児童は専門的な指導により動きのポイントをスモールステップで正確に理解し実践することができた。

●工夫したこと

- ① サーキットコースを考案し、補強運動に取り組んだ。
- ② 全校児童による体育授業の実施から、異学年の取り組む様子を観察させることで、お互いのコミュニケーションの取り方を考えさせる機会となった。

取組の成果

- ① 新体力テストの結果に向上が見られ、多くの学年で昨年度より全国平均を上回る種目が増えた。
(種目別では、握力・立ち幅跳び・反復横跳び)
- ② タブレットの活用から、異学年で積極的に話し合う様子が見られるようになってきた。(比較→改善点へ)
- ③ 朝のリフレッシュタイムがない曜日でも、体力づくりカードの進捗状況や体育行事へ向けて自分の課題を決めて運動に進んで取り組む姿が見られてきた。

今後の課題

- ① 新体力テストの結果では、まだ全国平均に達していないところもある。今後も向上を目指して、補強運動を行っていききたい。
- ② 振り返りの場面でもICTを活用し、学んだことを全体で共有できるようにICT活用のスキルを上げたい。
- ③ 児童の意欲をより高め、運動の習慣化を図れるように、体力づくりの内容等の改善を図っていききたい。

1 教科体育の充実

(1) 全校児童による体育の授業の取組



跳び箱運動に適したサーキットコースによる補強運動



異学年でのグループでの活動

(2) ICTを活用した学び合いの充実



効果的な撮影のための場の設定

互いに撮影

できばえを一緒に確認

2 教科外体育の充実

(1) 朝のリフレッシュタイムの取組



朝から元気に鬼遊び



長縄エイトマン

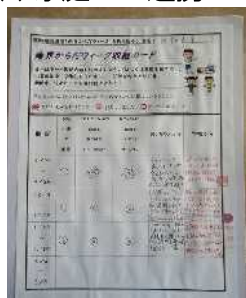
(2) 体力づくりカードの作成



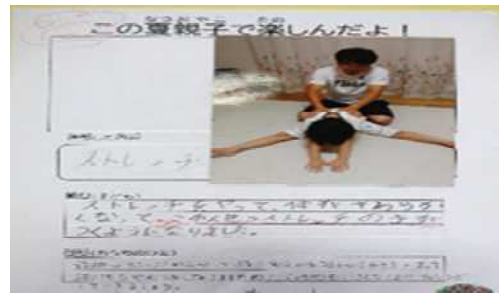
マラソンカード

3 家庭・地域との連携

(1) 家庭との連携



「南界からだウィーク」のカード



夏休み取組カード（親子で楽しく体力づくり）

(2) 地域との連携



元陸上選手による陸上教室



ラジオ体操専門員による指導